



平素より格別のご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第76期第2四半期累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)におきましては、抗悪性腫瘍剤「オブジーボ点滴静注」が、胃がんや食道がん、尿路上皮がんを中心に引き続き使用拡大するとともに、糖尿病、慢性心不全および慢性腎臓病治療剤「フォーガ錠」、抗悪性腫瘍剤「ベレキシプル錠」、なども堅調に推移しました。また、ロイヤルティ収入も引き続き増加し、中間期としては6期連続の増収増益を達成いたしました。

当社は医療ニーズの高いがん、免疫、神経、スペシャリティの四つを重点領域に定めて、画期的な新薬の創製に取り組んでおります。積極的な研究開発投資のもと、トップクラスのアカデミアやベンチャー企業とのオープンイノベーションを強力に推進しているほか、欧米での自社製品の販売体制の構築も進め、一人でも多くの患者さんに新たな治療の選択肢をお届けするべく、これからも挑戦を続けていく所存です。

株主の皆さまには、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 相良 暁